元気創出事業

市民に事業内容アピールを

まちの元気推進委が市民フォーラム

市『まるごと博物館構想』を核とした『人』・『地域資源』で紡ぎだすまちの元気創出事業」(3年間)を進める「信州須坂まちの元気創出推進委員会」と、事業を受託する「戦略資源活用による地域産業の拡大事業共同企業体」(JTB総合研究所・市観光協会)は23日、最終年度のスタートに当たり、2年間の取り組みを参加した市民らに報告し、パネルディスカッションをメセナ小ホールで開いた＝写真。

「須坂のまちの未来づくりを考える」と題し、進行中の元気創出事業と須坂の活性化について3人のパネリストが思いを語った。

須坂に戻り約12年の宮沢智史(さとし)さん(須坂青年会議所理事長)は、司法書士として空き家問題に力を入れている。

「大学、就職で約10年須坂を離れてみて須坂側から見える奇麗な北信五岳の景色にハッとした。須坂はもともとコンパクトなまちでちょうどいい田舎。どこでも顔がつながり、1時間以内でいろんな所に行ける。ちょうどいいサイズ感を〝須坂サイズ〟と私は呼ぶ。何もないようで何でもあるまちだ」

一方、活動任期3年の最終年を迎える鎌倉美恵子さん(市商業観光課所属地域おこし協力隊)は「(人が多い都会では転入等の手続きで)市役所に行くと一日が終わってしまうが、須坂の手続きは数カ所を回っても半日で済み、時間が有効に使える。埼玉から引っ越していろんな人に助けていただいた。何もないと皆さんは言うが、須坂の生活には幸福感がある。住んで大変感謝している。任期が終わっても継続をと思っている」。

須坂に帰り4年目の境賢光(けんこう)さん(境果樹園)は、南小河原町でサッカーコート3面ほどの面積でブドウを栽培する果樹農家だ。

外から見た須坂のいい所について「リンゴの花が咲くころに遠くに雪の残る山が見える景色が、無機質な東京のビル群を見ていてふと頭に浮かんできた。何もないまちと思って出てみると、リンゴの花と雪山の景色が至る所にあり、懐かしく、帰りたいと思った」。

さらに「都会の消費者の買う姿を見て、こういう人たちが喜ぶブドウを作らないといけない。消費者を知らない生産者ではいけないと思う。大学時代に東京に出てよかった」と実感を込めた。

3年目の元気創出事業に向けて鎌倉さんは「外部への発信はいいが、市民が何をしているのか分かっていないと思う。産業振興、文化振興、回遊促進の三つの事業をリンクして進めると、後に財産として残っていくと思うので、住んでいる人が理解し、楽しめ、活用できることが大事だ」と指摘した。

境さんは「(事業で作った)動画を見ると、どういう所でブドウができるのかが分かるのでよかった。市内外の人にもっと畑に来てほしい。果樹でも野菜でも奇麗な瞬間がある。袋のかかった瞬間や、早朝の朝露にぬれたブドウがキラキラ輝く瞬間などは、写真や文章では表現しづらいのでコロナが終わったら直接見てほしい。来てもらうことでファンになってもらえる」とした。

宮沢さんは「まちの元気は須坂に住む人がつくる。長野県の空き家率は全国ワースト3位で、5軒に1軒が空き家。市内は約3000軒。空き家が多い地域は元気がない。市内に発信し、活用に回すことが大事だ。負け動産の負(ふ)動産(不動産)から活用に回すことでお金に変わる富(とみ)動産の富(ふ)動産(同)になるとまちの元気につながる」と強調した。

JTB総研の安藤勝久さん(ファシリテーター)は「住む人が主役、景観が素晴らしいまち、人が温かいなど地域資源の生活文化資源やなりわい資源を再評価し、市民に分かりやすく、参加を広げ、元気が創出されるようにとの示唆をいただいた」と結んだ。

信州須坂まちの元気創出事業「市民フォーラム」は、三木市長の開会あいさつに続き、山根宏文松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授が「地域の魅力を生かした地域住民による観光まちづくり」と題して基調講演をした。事業報告は中沢正直信州須坂まちの元気創出推進委員会委員長(副市長)がした。

安藤さん瑞宝小綬章に

元外務省医務官　保健衛生功労で

安藤さん

政府は29日付で、春の叙勲受章者4037人を発表した。県関係は57人で、須高では元外務省医務官の安藤保夫さん(73、高山村中原)が保健衛生功労で瑞宝小綬章を受章した。叙勲は国家・公共に対し功労が認められた人に贈られる勲章で、「瑞宝章」は長年にわたり公務等に従事した人が対象になる。

安藤さんは1991年に入省。医務官として2014年に退職するまで23年間、医療事情が整っていない開発途上国を中心に、南アフリカなど世界各地に勤務。医師として、在外公館員やその家族の健康管理、在留邦人の健康相談などを行ってきた。

さまざまな国で生活をし、テロや自然災害を経験。「海外に出てみないと分からないことがたくさんあった。日本で報じられるのはほんの一部」と実感。

「幼い頃に教科書に載っていたアルベルト・シュヴァイツァーに憧れて医師を目指すようになった。何かを成し遂げたという実感はないが、23年間さまざまな国や地域で慣れない生活環境の中、頑張れたと思う」と振り返った。

現在は、県赤十字血液センターに非常勤で勤務している。

指導碁や大盤解説会を計画

本因坊戦に向け村実行委設立

6月1、2日に高山村で開催される囲碁の第77期本因坊決定戦七番勝負第3局(毎日新聞社、日本棋院、関西棋院主催)に向けて、村や囲碁、村内の各種団体の関係者はこのほど、村実行委員会(実行委員長・内山信行村長、13人)を立ち上げた。25日、村公民館で初会合を開き、事業計画や今後の日程などを確認した。

対局は山田温泉の老舗旅館「藤井荘」で行われる。開催地イベントとして、実行委は村公民館で1日にプロ棋士や女性インストラクターによる「多面打ち指導碁」、2日には大盤解説会を予定している。

本因坊戦は、7大タイトル戦の一つで、5月10日に開幕する第77期七番勝負では本因坊文裕(ほんいんぼうもんゆう、井山裕太九段)に一力(いちりき)遼棋聖が挑戦する。一力棋聖は初の本因坊を目指し、井山本因坊は前人未到の11連覇が懸かる。7大タイトル戦での両者の対戦は10度目となり、通算の対戦成績は井山本因坊の7勝2敗となっている。

No.388
いいこと報告
総務課　松澤　美弥子
今年に入り甥っ子に男の赤ちゃんが生まれました。何回か連れてきてくれて、抱っこしたり、ほっぺをさわるとすべすべしていて気持ちよく、見ているだけでかわいくて癒されます。これからの成長がとても楽しみです。
ミハルくん
おかげさまで創業67周年
山久プロパン株式会社
須坂市臥竜6-24-8　☎245-0731
https://www.yamakyup.jp/

花のミヤザキと割烹能登忠の限定企画
母の日
～花と和食の贈り物～
期間　4/29(金)～5/8(日)
コロナ禍で頑張っているお母さんと一緒に母の日はいかがですか？
料金　お花＋お料理［お弁当と汁物 2名様分］▶ ¥10,800［税込価格］
3名様以上でのご利用の場合、お料理はお一人様ごと3,240円(税込)の追加料金で承ります
信州プレミアム食事券【期間延長 7月31日まで利用可】などにも対応しております。詳しくはお問い合わせください。
※ご注文はご利用2日前までとさせていただきます
※写真はイメージとなります　※汁物の器は付きません
■お申し込み・お問い合わせ
割烹能登忠
☎026-245-0053

困ったら、まず一報
かたづけ屋
どんなことでもご相談ください
男手・人手がないお宅でも
多・少・大・小かかわらず!!
受付
須坂ホームクリーン
☎245-1088

パソコンであの日のニュースが見られます。
須坂新聞
2021年版
DVD発売中!
便利な検索機能で知りたい
地域情報も素早く得られます!
価格
1枚 12,000円(税込)
※2010～2020年版
DVDも同時発売中です。
お買い求めは
須坂新聞社 メディアサービス係
須坂市南横町1591-8 TEL.245-5320
FAX246-9876　info@suzakanews.co.jp

新築屋根工事・葺き替え工事・
屋根修理全般・太陽光設置
久保瓦店
須坂市高橋町105-1
TEL.026-248-4029　携帯090-5828-1039

味付け豚ホルモン
G.WのBBQに!
TAKE OUT
みのり焼き
お持ち帰り用　500g(2～3人前)　1,620円(税込)
焼肉居酒屋みのり　須坂市大字須坂252-4(信州医療センター東側)　TEL.245-7467　【日曜定休】